

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の把握が浅く、一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向を充分把握することが出来ておらず個別性が無く、日常生活をただ漫然と暮らさせているところがある。	認知症のレベルにあった、また家族を巻き込んだサービスが提供できるようになる。	入居時から三ヶ月おきに、長谷川式簡易知能評価スケールでチェックし、認知機能レベルを職員が把握し、個別のリハビリを計画してみる。	6ヶ月
2			予防・予測的なサービスの提供が出来、活気ある日常生活にする。	定期的なケアカンファの実施	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。